

公民館報

たかき

【第651号】

発行日 2023年7月18日

発行責任者 喬木村公民館長

林 司

編集責任者 公民館編集部長

池田 英明

印刷 龍共印刷株式会社



公民館報リニューアル

館報に関わる 皆さんを紹介します！

質問内容

- ①いつから活動していますか？
- ②いつ活動していますか？
- ③何名で活動していますか？

長年にわたり公民館報に携わってくださった皆さん、新たに公民館報に協力いただく皆さんの活動の様子をお伺いしました。

見てもらい、知ってもらうことで、人と人、地域、そして「想い」を繋いでいきます。

村民ひとり一人が主役です！

これからもよろしくお祈いします。

喬木カメラクラブ



発表会では、それぞれの
写真をほめ合い
和気あいあい♪

- ①昭和 37 年頃から
- ②撮影会と発表会（春と秋）
・文化祭・展覧会等への出展
- ③ 14 名

当クラブは、公民館報たかきと縁が深く、これまでの館報一面、題字背景の写真（段丘より天竜川右岸を望む）は、会員の方が撮影したものです。また、元公民館本館編集部員も在籍しており、当時の取材や撮影の苦労話もお聞きできました。

発足は定かではありませんが、戦前より小川にあった宮下写真館さんと、山本の熊合写真館さんが関わっておられたようです。昭和三十七年から四十五年頃には活発になり、現在の形となったそうです。会員は十四名ほどで、春と秋の年二回、撮影会と発表会が行われています。その他にも村文化祭や展覧会などを目標に、写真の撮影と出展を楽しんでおられます。

「技術的な向上は二の次、コンパクトカメラでも大丈夫なので、まずは皆で楽しみましょう」と会長の原一さん。撮影会後の発表会で、皆で称えあい、和気あいあいとお話されている姿がとても印象的でした。年齢はそれぞれ違いますが、上下の関係なく自由で気楽な雰囲気です。

#会員募集中です#

真浄寺書道会



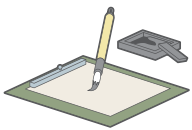
- ① 2008年から
- ② 木曜、金曜、土曜の夕方
- ③ 主に小学生から高校生までの約90人が通っています。

永井住職に
教えてもらっています。



真浄寺の永井真寿住職が講師を務める書道教室で、子どもたちが寺に集まって書道に取り組んでいます。過去にも寺では書道教室が行われていましたが、二〇〇八年に永井住職を新講師として復活。当初は十六人だった生徒数は年々増加し、現在は九十人ほどが永井住職の指導の下で研鑽を積んでいます。生徒は主に小学生から高校生で、村内だけでなく近隣市町村から通う人もいます。

教室は木曜、金曜、土曜の夕方に開き、長野県書道展や南信書道展や全国学生書道展などの出展に向けて作品制作に取り組んでいます。永井住職が書いた手本を見ながら線



第27回長野県現代書藝全国展 創玄書道会 第59回全国学生書道展

報告会を開催

昨年度開催された上記2つの展覧会で、門下生の皆さんが上位入賞という成績を取られ、その報告会が行われました。今後の活躍も期待しています！



<第27回長野県現代書藝全国展>

- | | |
|-------------|---------|
| 田宮文平賞 (最高賞) | 池上 華乃さん |
| 長野県知事賞 | 松澤 紗采さん |
| 長野県教育委員会賞 | 松島 杏佳さん |
| 長野県現代書藝協会賞 | 村澤 春風さん |



<創玄書道会 第59回全国学生書道展>

- 毎日新聞社賞
- | | |
|--------|---------|
| 【高校の部】 | 池上 咲さん |
| 【小学の部】 | 奥村 芽生さん |
- 金剛峯寺賞
- | | |
|--------|----------|
| 【高校の部】 | 池田 あさ美さん |
|--------|----------|

り返し練習し、ポイントや改善点を教わりながら納得のいく作品を書き上げます。

正月には毎年恒例の書き初め大会を開いているほか、仏教行事に合わせて甘茶を飲んだり、花草餅を食べたりと、寺院ならではの伝統文化に触れる機会もあります。展覧会

に出品した作品を喬木村郵便局やJAみなみ信州喬木支所などに展示することもあります。

村内の書道文化の継続と地域に開かれた寺を目指し、指導に励む永井住職。「題字を通して子どもたちの頑張りを見て欲しい」と話しています。

喬木俳句会



- ① 昭和30年頃から
- ② 2か月に1回（奇数月第3水曜日）
- ③ 10人で活動しています



コロナ禍を経て、五月に四年ぶりに集まったという俳句会の皆さん。その間集まることはありませんでした。日々感じたことをそれぞれ句にして活動されていたそうです。

記録しているそうです。十七音という短い文章の中には沢山の想いが入っています。読んで想像する。詠んだ方に話を聞く。色んな楽しみ方が俳句にはあるそうです。この四年の間に若手が四人も入りました！まだまだ会員募集中です！是非皆さん俳句を始めませんか？

喬木村俳句会 水無月句会 詠草

雨垂れのまにまに見ゆる山若葉
風青し軽トラの窓腕出づ

木下 瑞恵

一輪の顔ほどもあり紅牡丹
酔の夫そっと手のなか螢火よ

矢澤恵美子

空うつし苗待つ水田つばめ舞ふ
サルビアにそっと土寄せ幼き手

松島みのり

断捨離の講演会や風薫る
夏木立五感にひびく深呼吸

宮島 高枝

初きゆうり神様進せて粕揉みに
ほととぎすホッチョかけたか峰越えし

村山たか子

(ホッチョかけたか＝鳴き声)

今来たよ喜び語る初つばめ
子どもの日絆深まるバーベキュー

原 美恵子

夏めくや連山膨る伊那の谷
十葉の花の白さにさからへず(十葉＝とくだみ)

西元くにこ

梅雨の傘ピアノ弾く子とコラボなり
輪に入りて浴衣の香り風運ぶ

市橋 ヨリ

ままごとの友は何処に柿の花
祖母と居し夏桑畑の跡もなし

松葉 孝子

すぐ口に入れるは惜しきさくらんぼ
蹲に経の流れや夏つばめ(蹲＝境内の手水鉢)

吉川てる子

編集部



珈琲とお菓子を囲んで和気あいあい、
ときに真面目に紙面を作っています。
ぜひ、ご意見をお寄せください。

喬木短歌会



- ①昭和48年から
- ②月に1回
- ③現在は12人

今年で活動
50年



今年で五〇年の節目を迎える喬木短歌会へ取材に伺った日は九人の方が参加しており、まずは時事ネタを含めてこの会の成り立ちや歴史を教えてくださいいただきました。その後各々が作った短歌二首を他の会員さんが順番に読み、感想を述べてその歌の背景や思いを読み取っていました。

短歌は、日常や身の回りの出来事、気付きなどが動いたことを三十一文字の言葉として紡いでいきます。そして誰でも、体が動かなくなっても詠むことができるのだと教えていただきました。その上で、代表の福澤さんが添削をしたものも参考にしつつ鑑賞していくと、どの言葉をもどのように使うかで印象が変わるのがよくわかり、伝えるための言葉選びの奥深さも感じました。

たかぎ短歌会 水無月歌会 詠草

長雨に打たれ打たれし夏野菜少しの生りを丁寧なに摘む

知久 美子

杖にどいもつきて蒔きし馬鈴薯芽を出せばつひ嬉しくて「ありがとう」とふ

和田 京子

時ならぬ雨に見舞はれ雪は消え春の訪れ野山に満つる

塩澤 静男

河口湖に映る真白き富士の峰一きわ見事な姿を仰ぐ

木下 寿子

英語辞書貸してくれたる君ありき今年限りと賀状の届く

木林 睦枝

まだ淡き緑の中にウツギ咲く花白じると際立ちて見ゆ

元島 康子

御歳が八十三となる亭主小松菜の名前浮かんでこぬとう

市瀬 准子

わが里で初の歌会喜びぬ見送る友等に五月雨けぶる

小椋 りよ

待ち待ちし牡丹つぼみの蕾開きしに咲けば束の間くずれるごとし

内山 和子

はてしない青空に響け児等の声未来を託す新喬木保育園

内山 貴子

Gセブン原爆資料館を見学す世界へ届け平和の願い

田中 妙子

謝罪なく「核のボタン」携よげヒロシマへ非拡散宣のたまふ大国のあり

福澤 亀人

村内で活動する公民館サークル・団体の皆さんの声をお聞かせください!

公民館報では、公民館サークルや村で活動する皆さんを紹介していきます。編集部が取材にお伺いしますので、「我がサークルを是非!」という公民館サークル・団体の皆さん、喬木村公民館までご連絡ください。

公民館では七宝焼きや読み聞かせ、編み物や生け花など、多くのサークルが活動しています。興味のある分野や、趣味などありましたら、お気軽に喬木村公民館へお問合せください。(新規サークルの受付もしています)

公民館体育部

春のスポーツ交流会



本館体育部の新たな取り組みとして、「春のスポーツ交流会」が五月二十一日に中央社会体育館で開催されました。小学生から七〇代以上の五十六名の方に参加をいただき、誰でも気軽に楽しめるペタンク、囲碁ボール、卓球、ふらばーるバレーを楽しんでいただきました。



天気もよくペタンクも楽しめました!



次回 秋のスポーツ交流会 9月24日(日)です!

と、色々なスポーツを色々な方と楽しんでいただけよう設定しました。参加者の皆さんからは「とても良い運動になった」「他地区や多世代の方と交流ができた」「楽しかった」などの声をいただきました。楽しい交流会となりました。九月二十四日(日)には「秋のスポーツ交流会」を計画しています。多くの方のご参加をお待ちしています。

選手に感謝!

第32回 長野県市町村対抗駅伝 第18回 長野県市町村対抗小学生駅伝

楽しみながら積極的に行う練習姿から将来に期待大です。参加された皆さんに感謝します。



●出場選手の方より一言

牧内 宇龍 (一般の部 2区)

今回の駅伝は、レースが厳しい場面もあったのですが、仲間と一緒に目標に向かって努力することで、チーム全体の喜びや成果を分かち合うことができました。また、駅伝が地域の人々や応援団との交流の場でもあり、その雰囲気もとても楽しかったです。

下岡 優佳 (小学生の部 1区)

私は、初めて市町村対抗小学生駅伝に参加しました。1区を任されて、スタート地点に立った時はとても緊張しました。周りに速い人がたくさんいたけれど、私も負けないように全力で走りました。チーム全体では、去年の記録を下回ってしまったけれど、6年生は私だけだったので、来年は記録を上回れるようにがんばってほしいです。

【一般の部 走者】 総合成績 45 位

1区 (2.7km)	中学女子	伊藤 凜々香
2区 (2.6km)	中学男子	牧内 宇龍
3区 (5.3km)	一般男子	片桐 北斗
4区 (6.5km)	一般男子	原 健太郎
5区 (5.3km)	一般男子	小林 陽一郎
6区 (4.4km)	一般女子	吉川 千恵
7区 (2.6km)	中学男子	丸山 聡大
8区 (6.5km)	一般男子	伊東 俊
9区 (5.3km)	一般男子	吉津 貴義
補 欠	中学女子	木下 美桜
補 欠	中学男子	昼神 歩陸
補 欠	中学男子	近藤 紫矢
補 欠	一般男子	市岡 尊

【小学生の部 走者】 総合成績 46 位

1区 (1.2km)	女子	下岡 優佳
2区 (1.2km)	男子	宮崎 大志
3区 (1.2km)	女子	山越 結菜
4区 (1.2km)	男子	吉野 陽
補 欠	男子	中村 桜介
補 欠	女子	長濱 姫来

撃り！の たかぎの子

学遊館広場 バルシューレ



ワンソール!

駐車場から体育館に近づいて行くと、松本山雅の仁コーチの大きくて元気のいいご指導の声があふれてきました。皆さん「バルシューレ」を

ご存知ですか？ バルシューレはドイツで生まれたボール遊び教室です。運動が苦手な子、運動をこれから始める子のスポーツの入り口です。

六月二十五日(日)に中央社会体育館に於いて、第一回学遊館広場のしくまなぶでこのバルシューレが開催されました。バレーボール程のボールを抱えてコーンをジグザグに移動、棒をまたいでくぐって小さなゴールにボールを入れる。また、大きなボールのころがしドッチボール等、終始子供達の歓声が響いていました。

最後は、山雅の掛け声で記念写真。みんなポーズで「ワンソール!!!」



ボールを投げるの楽しい!

子ども達がキラキラしていて大人も楽しかった!



「加々須分館の取り組み」
加々須分館長 小澤 政伸

まらず、マンネリ化している傾向があったことから、ここで一旦区切りをつけ、サークル活動やPTAへの支援・協力が切り替えていく予定です。地区内のサークル活動への支援は今までも行ってきましたが、今年新たに「みんなで笑いヨガ」のサークルが立ち上がり、誰でも気軽に参加できる場所が生まれました。地域の皆さんが楽しみながら繋がっていただける場所となつていきます。

また、PTA活動については、加々須地区のPTAの軒数は現在5軒で、来年度には2軒となつてしまいます。草刈りや資源回収、ごみ拾い等、公民館として協力できることは協力し、子どもがいる家庭が少なくなっても活動が継続できるようにしていきたいと考えています。「女性部」の活動は無くなりますが、地域の皆さんの楽しみや負担軽減に繋がる活動をしていきます。

加々須分館の大きなイベントとして、コロナ禍前には「加々須夏祭り」を開催していましたが、屋台やステージ、花火など地区の皆さんに楽しんでいただけるよう開催していたものです。今年度、実施

についてアンケートを取ったところ、「実施しない」という回答が8割となりました。しかし、「またやって欲しい」との声もいただき、アンケートを元にこれから検討をしていきたいと思ひます。

公民館活動を辞めることは出来ません。季節的な要素を入れながら、地区の皆さんが参加しやすい活動をみんなで話し合いながら考えていきたいと思ひます。是非他の分館の皆さんからもご意見をいただければ幸いです。



公民館で行った「みんなで笑いヨガ」

(活動) やつとるにー!!

お知らせ

美し郷喬木祭り

BON DANCE! (盆踊り)

日時 令和5年8月15日(火) 18:30~

場所 たかぎ保育園 園庭

入場 無料・申込不要

第1回公民館平和学習会

「沖縄の今」を考える

日時 令和5年8月19日(土) 14:00~

場所 福祉センター多目的ホール

入場 無料、申込不要

武田信玄狼煙リレー

日時 令和5年8月26日(土) 9:30~

場所 ・富田城山

・加々須茶臼山

入場 無料、申込不要

<9月以降のイベント>

●9月24日(日)

公民館 秋のスポーツ交流会

●10月下旬

第2回公民館平和学習会

お問合せ 喬木村公民館 0265-33-2002

あのとさ

このとき

公民館長



この七月から、喬木村公民館報「たかぎ」をリニューアルしました。

表紙には、タイトル文字と大きな写真を張り、B4縦一枚の紙面をA3二つ折りに。文字も読みやすい字体に替えました。

タイトル文字は、真浄寺書道会に、写真は喬木カメラクラブにお願いすると、快く受けて頂けました。ありがたいです。

今回のメイン企画として、館報に関わる方々に編集部員が取材し、紹介を行なっています。リレー記事として、俳句・短歌、各分館の記事を載せています。その他に、公民館本館等で主催した行事の様子を載せてあります。

館報の使命は、読者(地域の方々)に公民館活動の今を知らせる事、地域の話題や生活課題、様々な意見を住民目線で紹介すること、記録とし

て残すこと、と考えます。これにより、皆さんの喬木村についての気づきが膨らみ、興味を深め、考え、村をより好きになってもらえれば最高です。

館報編集過程では、やはり住民参加を基本として、みんなで作る紙面にしたいと考えています。編集部員4名も住民の一人として、仕事時間の合間をぬって懸命に活動しています。「館報の内容が貧弱」との意見が村民アンケートでありました。読んで頂いているのは嬉しいですが、何をどう改善できるとよいか意見をお待ちしています。

今回の表紙

題字

真浄寺書道会

写真

喬木カメラクラブ 原 一さん

裸で本当に痛くないかな?と心配しながら撮った1枚。よく見るとコイツ、針を握っている。いい目をしとるね。アマガカエルはかわいい。



編集後記

私「人見知りであがり症だった」と言っていて信じてくれる人は多分いませんが、大人になり、経験を積んで度胸がついた今でも根っこにはそんな自分が居ます。

「人は人の中で育つ」と言われますが、それは子どもだけではなくありません。子ども時代は基本を、成長するに従って応用を身につけ、その方法を多く知ることによって苦手なことにも対応できるようになっていきます。

しかし、人と触れ合う機会がコロナ禍で激減しました。関わりが少ないのは楽ではありましたが、人との直接的な繋がりが希薄になる怖さも感じていました。だからこそ、これからまた取材を通して新たな繋がりを増やしていきたいと思えます。

ご意見・ご感想 お待ちしております

館報を読んで思ったこと、感想をお寄せください。寄稿も大歓迎です!

喬木村の公民館報をみんなで作っていきましょう!

☎ 0265-33-2002

mail: syakai@vill.takagi.nagano.jp